

一、ブラウダ紙二日附論説大意

ソ聯人民委員會議の決定により今回第三次五ヶ年計畫第三年度發行の經濟、國防強化公債八十億ルーブルが發行されることに成つた、これに依つてソ聯の經濟、國防、文化が強化發展される、發行目的の達成はソ聯國民の責務と云ふ事が出来る、ソ聯邦は終始平和政策を繼續し歐洲とアジアの戦火を避けつ、レニングラドの安全を脅かすカレド地峽を手中に收めウクライナを收め今回ベサラビア及北部ブカヴィナを二十二年に亘るルーマニア土彙の抑壓から解放した、此等の事實はソ聯の社會的發展を物語るものである、この公債を求むる事により經濟的軍事的に一層の強化を實現する事が出来る、と同時に八時間労働制、一週七日間労働制、怠惰者退治を勵行しなければならぬ、既に新公債發賣初日異常の人氣を呼んだが過去に於ける公債發行の消化振りは第一次五ヶ年計畫公債は五十九億ルーブル、第二次五ヶ年計畫第一回は百九十億、第二回百十五億の申込額で二千七百七十萬人から五千萬人と申込人員は増加したのである、永き傳統により今回も六十乃至七十億ルーブルは直ちに消化されると信ずるのであるが國民は公債應募によつて物心一體たることを實現しなければならぬ、國民は各自に公債購入の重要性を認識し之に依つて物的文化的水準を向上し得對内外政策を堅持し得、國防を強化し、社會主義工業を發展せしめ農業を運輸を、文化を平和政策を確保し得ることを再認識しなければならぬ、労働者、農民インテリ層は一掃と成つて申込み政府に對する合成意志を示さなければならぬ。

本日の新聞論調 (第五百五十四號) 内閣情報部 一五・七・三 (水)

内 容 目 次

- △豫算節約方針決定
 - 一、豫算節約の申合せ (日日)
 - 一、豫算壓縮の目標如何 (讀賣)
- △貿易統制會社案
 - 一、貿易統制の一進展 (朝日)
- △貿易統制會社案の檢討 (中外)
- △經濟團體の再編成問題 (國民)
 - △第三國の援蔣問題
 - 一、頑冥なる英國の援蔣行動 (日日)
 - 一、國境作戰と米海軍の行動 (讀賣)
 - 一、佛印援蔣路の遮斷 (報知)

X X X

△豫算節約方針の決定

一、豫算節約の申合せ (日日)
 實行豫算の編成はしかも簡單には運ばない。即ち二日の閣議も實行豫算の名を避けて或

程度の節約をなす申合せをなしたに過ぎない。申合せ中注目される點は、豫算節約は重點主義を以て戦時經濟の強化乃至事變處理の促進に資せしめんといふにある。思ふに實行豫算の名稱に拘泥する必要はなく、また節約も現實の必須に即應するため重點主義を徹底せしめて戦時豫算の基礎を鞏固にすべきであるのみならず、豫算編成當時は經濟關係も非常な變化を來してゐる。従つて國防計畫は勿論他の諸般の事情についても再検討が行はなくてはならぬ。われ等の念ずる所は眞に國家財政の強靱性の維持と強化に外ならぬ。もし國家活動の源泉をなす豫算の實行、諸經濟政策、統制が現今の如く不徹底のまま、その日その日を過すこととなつては大飛躍を試みべきこの時代に好機を逸しないとは限らぬ。

一、豫算壓縮の目標如何(讀賣)

閣議決定の豫算壓縮方針は如何にも抽象的であつて、如何なる程度の壓縮をするのか窺知し得ない。當時にいへば豫算壓縮には第一に壓縮の程度について目標を決定してかかることが必要だ。この意味で天引主義が實際には有效なやり方である。然るに政府は壓縮についての目標もきめなければ天引主義も採らない。それで果して見るべき豫算壓縮が出来るか疑問でなければならぬ。實行豫算を編成して經費を節約することは近年の常例である。ところで政府が今回豫算壓縮を決定したのは物資の調節を圖ることも一目的であらうが、それ以上に大きな目的がなければならぬ等だ、手つ取り早いへばインフレ防止に資することが一大目的でなければならぬ。 ↓

そのためには思ひ切つた壓縮を所行せねばならぬし、申譯だけの節約は意味をなさない。要は政府の決心次第である。インフレ對策の實行が魚眉の急となされてゐる時だ。政府の努力を切望する。

△貿易統制會社案

一、貿易統制の一進展(朝日)

今回閣議で決定した輸出品用原材料會社と輸出品買取の二會社の設立は貿易統制として明かに一歩進展といへる。輸出品用原材料會社の狙ひは、一方では爲替基金の運用を集中し簡捷化すると共に、他方原材料の確保と配給を期せんとするのであり、輸出品買取會社は純粹な輸出統制の機關であるが、繊維品や金屬雜貨を除く雜品類に限られてゐる。これは繊維品にこの種の統制の必要がないといふのではなく、民間業者に依る統制會社の設立を俟ちつつ最低價格の設定、不當競争の防止、品質の向上等の措置は必要に應じ行ふ意圖らしい。故に對策は固より徹底的ではなく、一元的な明快さを缺くが、しかも尙一步の進展たるは失はない、といふのは特に輸出品買取會社の考へ方に特徴があるのである。ただ何故に繊維品をも含めた包括的な統制會社を一舉に設立しなかつたかといふことは、今回の輸出統制が差當りの中、南米輸出を對象としてゐると同じく、事態を過渡的に見、先づ試験的に行はんの意圖に出たものと解すべきか。吾人は漸進主義を已むを得ざるものと

認めると共にここに困難なる貿易統制體制へ一步踏み出された點を注目する。

一、貿易統制會社案の検討（中外）

今回閣議の承認を得た所謂貿易統制會社案は第一に現行統制機構の不統一と割據主義是正を認めると共に第二に右の新機構も運動に當る人的要素の充實なくしては佛作つて現入れずといふことになる。商工省案では新たに輸出品買取會社を輸出品原材料會社と別個に新設することは再び統制機構の分立の前轍を踏む懼れをしない。買取會社の首腦部には卓拔氣鋭の實際家を据ゑなければ、國內製造業者と輸出業者の利害を調和しつゝ、輸出振興と外貨獲得の使命を完全に遂げ難いであらう。大阪商工會議所貿易部會の意見の如く、買取會社と、原材料會社の組織的聯繫を確保するため後者の一部門として前者を統合する方が賢明ではあるまいか。更に新統制會社の首腦には官吏の天降りには絶対不可で民間商會社で多年の經驗を積んだ部長級以上の人士を之に當らすべきことを當局は銘記すべきである。

△經濟團體の再編成問題（國民）

現在の如く自然發生的に出來上つた組織を以てしては、到底戰時經濟の完遂を得ぬことは明かて經濟團體統制の聲が漸次感烈となつて行くは故なきことではない。↓

經濟團體統制は過去でも數回問題となり、「經濟會議所法案」の如く何れも失敗に終つてゐる。尤も財界人としても經濟團體の必要を感じないわけではないが、傾向は出來るだけ舊い傳統の殻にとら籠りたいといふ氣持である。最近經濟聯盟が提案した「産業統制機構改善に關する緊急對策意見」は濫般の事情を物語つてゐる。これも要するに官僚統治を排除し經濟聯盟を中心として全カルテルを統轄し、財界自身の手により全産業のヘゲモニーを握らんとする意圖の如くである。經濟會議所法案にせよ、經聯案にせよ、技術的觀點から検討すれば一長一短はあらうが、經濟團體の再編成といひ經濟界の再編成といひ要はそれを實行する主體の心構へ如何である。労働組合と對立的立場にあつた全産聯も自發的に産報運動に解消すべきことが懸念されたが、之は全産側の一蹴したままとなつてゐる。全産聯の態度がかくある以上、經聯案の意のある所も推して知るべきで、經濟團體が自ら進んで利潤の制約を行ひ、出來るだけ社會的生產的方面に振向けるやうな心構へになる時こそ、自主的統制の意味があらう。

△第三國の援蔣問題

一、頑冥なる英國の援蔣行動（日日）

わが國は英國に對し援蔣行為の放擲を申入れたが、英國側はこれを肯んげないのみならず、他面不信行為を敢てして援蔣に策動しつつある。英佛が援蔣態度を續けて來たのは、

過去における帝國主義的發展によつて得たる權益を飽くまで確保せんがためであるが、今こそ迷夢より覺醒すべきである。今回のわが要求に對しては、英國は體面上讓歩し得ずか、或は米國の機嫌を損ずる如き態度をとり得ぬさかの理由によつて、なほ援蔣態度を放棄しかねてゐるが、それは利己的なる理由である。斷ぜねばならぬ。兼つてわが國の要求を見るに、その内部に正義と道德との深い根源を有する。何れにしても感傷的な主張や利己的態度は正義と道德に裏付けられた建設的大理想によつて排撃せられねばならぬ。世界は今や一大轉換期にある。英國の頑冥なる態度は英國のために悲しむべき結果を來すのみならず、世界平和の基礎となるべき東亞の平和と文化のために呪はるべきものである。

一、國境作戦と米海軍の行動（讀賣）

佛印當局が援蔣物資の輸入を禁絶するといふも佛印と廣西との國境がそのままである限り、今回の國境作戦はその完結を目的として行はれたものである。同時に南支軍は香港、九龍の英租借地を中心とする援蔣ルート遮断の作戦を進め、目的を達するに至つたが、香港政廳は何を勘違してか、俄に香港を戒嚴令下におくと同時に婦女子の強制避難を断行してゐる。香港當局の意中は香港の危殆を示し米國の關心を喚起せんとするにあらう。パナマに向つた米艦隊がハワイに集結した如き一聯の關係あることも窺ひ知られる。↓

通商條約廢棄を以て日英東京會談を牽制した米國は、同一手法を以てまたしてもわが對英要求に横槍を挿せんとするものが見られる。新東亞プロツク結成に關するわが國策は磐石の上には打ちたてられた。米艦隊の船がどの方向に向けられるとも、わが國策は微動だにしない。如何に巧妙なゼスチューも二度三度繰返されるにおいてはその効果も零である。粉黛だけではわが國を威嚇し得ぬのみか、自國民の關心すらもかち得ない結果とならう。

二、佛印援蔣路の遮断（報知）

佛印を路線にする援蔣輸血路最後の牙城龍州も陥落したが、この作戦成功は單に軍事的態勢強化によつて力ある以外、タンジステン資源制壓等のもたらす影響、重慶政府並に反日の第三國に與へる心理的影響に於ても極めて大なるものがあらう。今後要緊すべきは、ソ聯の援蔣工作と、ビルマを通る英國の援蔣路である。ソ聯の援蔣政策に對する措置は今後に委すにしても、差當りビルマ公路よりする英國の援蔣路遮断は一日も忽にすべきではない。當局に對し最後の斷を要望する。

△其他「何の噂りぞ。外交の進展・舉國一致の時・實行豫算は・香港の恐怖」(都)

4 (7月5日)

本日の新開概観

(第二百六十九號)

内閣情報部 一三・七・三 (六)

△概観

本朝の七紙を一瞥して強く印象に残るのは「國民」の編輯振りであらう。英米攻撃の急先鋒、英米依存者排撃といふ持前の性格、荒ツボイ重點主義的な編輯振りが本今朝刊紙の上に躍如としてゐる。即ち「英米太平洋を中心に海軍秘密協定、香港を米管理下に置く」「老猾な對日回答延引」などの大見出し記事を上段六段抜き通し組みで置き、下つて中段に「新嘉坡の防備強化」、「交渉活潑、米紙も示唆」(英米の對日策協議)、その他香港政廳が緊急協議をしたなど第一面を殆ど英國關係で埋め、下方に歐洲戦争記事を申請けに投込んである。

「朝日」「讀賣」「中外」等にも、英國が對日局面打開に苦慮し、米の意向打診中といふ記事あるも(ニユーヨーク同盟)「國民」の如く煽動的に扱つてゐるものはない。他紙では香港が混乱し、英當局が、ビルマ援蔣禁絶要求のわが申入れに對し回答を遅つてゐるこの報道が主要記事となり、印度政府が國民會議派を彈壓しボース氏を逮捕したといふや宋子文の米に於ける活躍なども大きく扱はれてゐる。歐洲戦争は大きな動きなく焦點は依然バルカンにあるが、洪の反羅熱高潮位のニユースが主で、「朝日」が歐洲戦争(バルカン情勢)

△朝日「朝日」の編輯方針は、英米攻撃の急先鋒、英米依存者排撃といふ持前の性格、荒ツボイ重點主義的な編輯振りが本今朝刊紙の上に躍如としてゐる。即ち「英米太平洋を中心に海軍秘密協定、香港を米管理下に置く」「老猾な對日回答延引」などの大見出し記事を上段六段抜き通し組みで置き、下つて中段に「新嘉坡の防備強化」、「交渉活潑、米紙も示唆」(英米の對日策協議)、その他香港政廳が緊急協議をしたなど第一面を殆ど英國關係で埋め、下方に歐洲戦争記事を申請けに投込んである。

「朝日」の編輯方針は、英米攻撃の急先鋒、英米依存者排撃といふ持前の性格、荒ツボイ重點主義的な編輯振りが本今朝刊紙の上に躍如としてゐる。即ち「英米太平洋を中心に海軍秘密協定、香港を米管理下に置く」「老猾な對日回答延引」などの大見出し記事を上段六段抜き通し組みで置き、下つて中段に「新嘉坡の防備強化」、「交渉活潑、米紙も示唆」(英米の對日策協議)、その他香港政廳が緊急協議をしたなど第一面を殆ど英國關係で埋め、下方に歐洲戦争記事を申請けに投込んである。